

3つの力で 三好 平は くらしを守る!

1 市政を厳しくチェック Check!

2 バツグンの発言力 Voice!

3 トコトンがんばる実行力 Never give up!

道州制導入の準備段階としての「地方創生」（自民党の政権公約2014）は、実質「地方つぶし」と言われています。市は「立地適正化計画」で都市機能誘導区域、居住誘導区域を、行政区域の3.71%に指定、公共施設等総合管理計画の見直しとして既存の施設の55%を削減する案を議員に提示しています。

これを国の言いなりで進めては、市民の皆さんに「サービスは低く」「負担は高く」と犠牲を押し付けることになります。引き続き「いのち・くらし一番の市政」目指し、市議会が行政のチェック役を果たすよう、皆さんとスクラムを組み、要求前進目指し頑張ります。

新 型コロナ対策 感染防止策を繰り返し求める

3月5日・5月15日の二次にわたる申し入れを行い、市民の健康、地域経済、生活と生業、人権をまもるために必要な24項目を要請しました。

2回とも副市長らが対応し、積極的に取り組むとの回答を得ました。



核 兵器禁止条約に 署名・批准を求める請願

趣旨
採択

H30年9月・12月議会では継続審査となり、私が国連での世界情勢の資料提供や国内での意見書提出、趣旨採択した自治体の状況説明を重ね、H31年3月議会でやっと「趣旨採択」とできました。写真は、平和行進の引継ぎ式。

子 どもは未来 主な実績

- 中学校卒業まで医療費無料
- 小・中学校の教室にエアコン設置
- 学校・通学路・避難路の危険なブロック塀を改修
- 学童クラブの受け入れを小学4年生まで拡大

憲 法9条を次の世代へ

戦争法の廃止をめざし市民と野党の共同

安保法制（戦争法）は廃止、憲法9条改憲許さない闘いは4年間も粘り強く市民と野党の共同で強められています。当方のアンケート結果＝平和憲法9条は変えてはいけない50%、変えるべき9%です。引き続き一緒に次世代へ引き継ぎましょう。写真は、戦争法廃止目指す四国中央市の会の街頭宣伝。



市 民サービス後退にきっぱり反対

各種手数料や使用料の値上げ、民間移譲のアウトソーシング、『地方創生』の狙いの地方つぶしなど、市民のためにならないことにきっぱり反対しています。

中 核病院の建設、はやく!

諸般の事情で建設が遅れる中、篠原市長の「三島。川之江インター付近に持ってくるのが市民にとって非常にいいこと」との発言で協定書無視の動きが強まる中、共産党議員団は繰り返し「協定書を守れと追及し」現在の三島医療センターにさせるため貢献してきました。また、移転跡の地域対策を求めています。

公 平・公正なまちを

国・県言いなりの行政運営では、住民の福祉増進を責務とする地方自治体の崩壊を招くことになり、安倍政権の『地方創生』を何の抵抗もなく踏襲する姿勢では、住民の利益第一の市政運営とはなりません。大企業、アメリカ言いなりの国の悪性から、住民を守る防波堤の役割を果たすべく、引き続き公平・公正なまちづくりに努めます。